

企業経済学

久保克行教授

kkubo@waseda.jp

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

専門分野はコーポレート・ガバナンス、組織の経済学、人的資源管理論、労働経済学などである。現在までの研究のトピックとしては、たとえば、1)経営者は株価を最大化するように経営するインセンティブを持っているのか、2)取締役改革は企業の業績・行動にどのような影響を与えたのか、3)合併・買収によって企業の人事制度がどのように変化しているのか、である。

2. 指導方針

当研究指導では、組織の経済学に関する基本的な知識を身につけることと、実証的な論文を完成させることを目的とする。まずは、先行研究を理解し、自分でも再現できるだけの能力を身につけることが必要となる。経済学の実証研究の論文を読み、自分でも行うためには、計量経済学のある程度の知識は不可欠である。当研究指導では計量経済学そのものの指導は行わないが、ある程度の統計学や計量経済学を用いた文献を多く使用する。

3. 学生に対する要望・その他

具体的な実証分析のためには、コンピュータの積極的な使用は不可欠である。具体的には、Nikkei NEEDSなどのデータベースからのダウンロード、Excelを用いたデータの整理そしてStataなどの統計ソフトウェアを用いた統計分析が必要となる。現在までにこういった作業になれている必要はないが、自主的に身につける必要がある。教科書・参考文献の多くが英語であることは言うまでもないが、研究者になるためには、英語で論文を書くことが必要となる。現在、英語が得意である必要はないが、英語を避けて通ることは不可能である。